



2006年5月31日

各位

会社名 大日本住友製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮武 健次郎
コード番号 4506 (東証・大証・名証各第1部)
問合せ先 広報部長 橋本 治
(TEL. 06-6203-1407)

「ドプス®」の海外導出に関するお知らせ

大日本住友製薬株式会社(本社:大阪市、社長:宮武 健次郎)は、当社が開発し国内で販売中のノルエピネフリン作動性神経機能改善剤「ドプス®」(一般名:ドロキシドパ)の海外における開発・販売権を、Chelsea Therapeutics International, Ltd. (以下チェルシー社、本社:米国)に導出するライセンス契約をこのほど締結いたしましたのでお知らせいたします。

この契約により、当社はチェルシー社に対し、日本、中国、韓国、台湾を除く全世界において、「ドプス®」を独占的に開発・販売する権利を付与しました。

「ドプス®」は、神経伝達物質ノルエピネフリンの前駆物質で、生体内で天然型のノルエピネフリンに変換され、不足したノルエピネフリンを補充し症状を改善する薬剤です。「ドプス®」は、1989年に「パーキンソン病(Yahr重症度ステージⅢ)におけるすくみ足、たちくらみの改善」等を効能・効果として国内で発売され、2000年に「起立性低血圧を伴う血液透析患者におけるめまい・ふらつき・たちくらみ、倦怠感、脱力感の改善」の追加承認を得ています。

今後、チェルシー社は、欧米において「自律神経障害に伴う起立性低血圧」の効能取得を目指し、オーファンドラッグとして開発する予定です。

当社は、「ドプス®」が海外で承認・上市されることで、起立性低血圧の治療に貢献できるものと期待しています。

以上

(ご参考)チェルシー社の概要

- 1) 社名: Chelsea Therapeutics International, Ltd.
- 2) 設立: 2002年
- 3) 所在地: 13950 Ballantyne Corp. Place Suite 325 Charlotte, NC 28277
- 4) 代表者: Dr. Simon Pedder (President and CEO)
- 5) 事業内容: 関節リウマチ、乾癬、癌などの免疫に関連した疾患治療剤の開発
- 6) ホームページアドレス <http://www.chelseatherapeutics.com/>